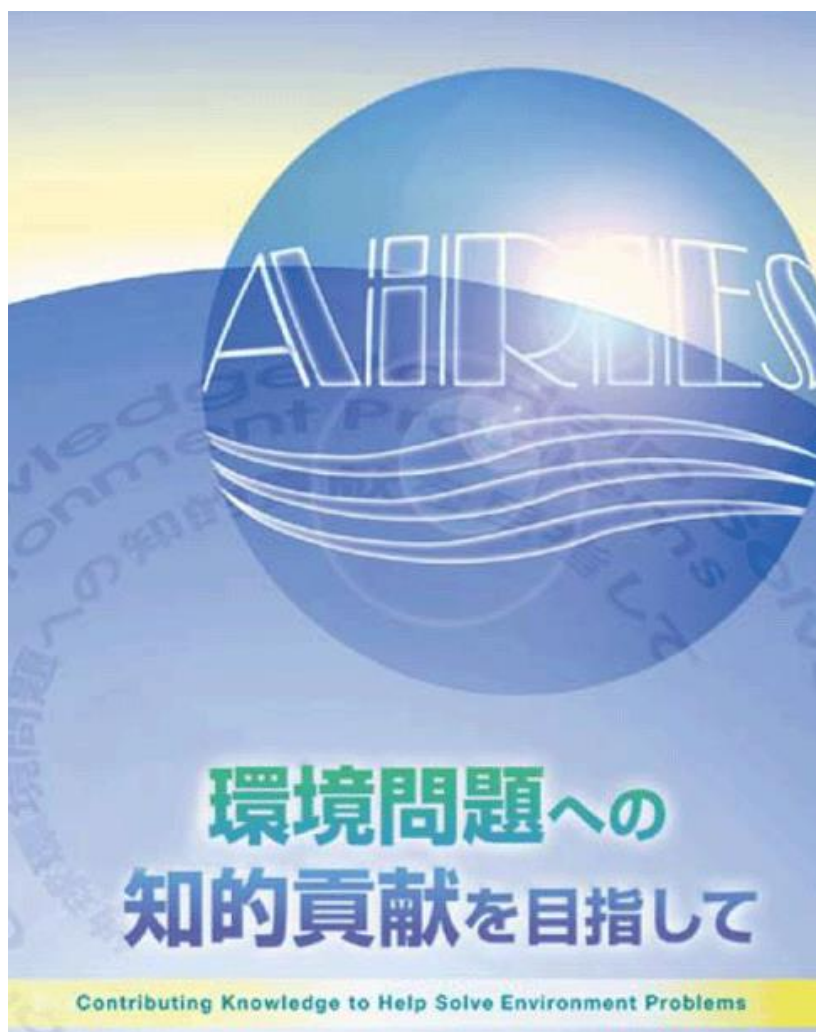


国際環境研究協会ニュース

AIRIES NEWS
AIRIES NEWS

2022年5月 第311号



CONTENTS

- 1 協会業務報告
- 2 地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業
プログラムオフィサー (PO) 自己紹介 丹治 保典 (たんじ やすのり)
- 3 和文会誌 最新号のお知らせ
- 4 業務報告

協会業務報告

徳田博保(専務理事)

コロナ禍でゴールデンウィークが輝きを失って久しいですが、今回はいかがお過ごしでしたでしょうか。

蔓延防止措置が解除され、新聞には国内ツアーの広告が大きく掲載されるようになってきましたが、海外ツアーの広告は見当たりません。ネット上でも大手旅行社の海外ツアーはほとんどがハワイなどに限定されているようです。今後、ワクチン接種証明書、PCR 陰性証明書等を示せば入国できる国が増えてきて、海外ツアーが「リベンジ消費」の対象となるのはいつごろでしょうか。

日本はコロナとの共存状態に入りつつあり、突発的な事故はあるものの全体的には比較的平穏な日々が続いているように見えますが、世界を見渡すとロシアによる軍事侵攻を受けているウクライナのほかに大変な状況にある国々が散見されます。

中国では、上海でロックダウンを余儀なくされるなどゼロコロナ政策にはほころびが見えています。スリランカでは経済危機で暴力的な抗議デモがあり非常事態宣言が出されました。アフガニスタンは隣国パキスタンから空爆を受け、女性や子どもを含む 40 人以上が死亡しました。ヨルダンではシリアから入国しようとした麻薬密輸業者 27 人を殺害したと発表されていました。南アフリカの洪水では 400 名以上が亡くなりました。平和な国というイメージがあるスウェーデンでも、イスラム教の聖典コーランを焼却した極右政治家に対する抗議で暴動が発生しました。

ユーラシア・グループというコンサルタント会社が年初に 2022 年の十大リスクを発表していました (EurasiaGroup_TopRisks2022_Japanese.pdf) が、1 位が中国のゼロコロナ政策の失敗、5 位がロシア

によるウクライナ侵攻などで、これらはほぼ的中しているように見えます。7 位は温暖化関係で、2 歩前進 1 歩後退 (Two steps greener, one step back) とし、長期的な脱炭素化目標と短期的なエネルギー需要が反目する年になるとしていました。ロシア制裁によるエネルギー市場の混乱がどう影響することになるのでしょうか。

さて、協会の主要業務ですが、CO2 削減技術開発実証に関しては、今年度からカーボンニュートラル技術開発実証事業に衣替えされました。プログラムディレクター・オフィサーが、科学的観点・事業化の観点等からの助言・進捗管理等を行うほか、応募相談・過去の事業のフォローアップ等を実施します。

環境研究総合推進費の関係では、行政ニーズと呼ばれる環境政策上必要と考えられる研究テーマの策定支援、過去の研究の追跡評価等を行います。

学術誌については、国立環境研究所の三枝センター地球システム領域長にまとめていただいた「地球環境モニタリング等の活動 30 年の歴史と将来展望」を発行しました。地球観測の 30 年間の歴史、現状、将来展望が詳細に説明されています。時間がない人でもタイトルと図を見るだけでどのような観測が行われているのかおおよそ把握できます。今年度は、「循環と共生からの地域環境イノベーション」、「日本の 2050 年脱炭素シナリオ」、「地方環境研究所特集」、「Role of Asia in the world towards net-zero; from global perspective」(いずれも仮称)を発行予定です。

引き続き、みなさまのご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



プログラムオフィサー(PO)自己紹介

地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業
丹治 保典(たんじ やすのり)

本年4月より「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」POを担当することになりました。主にバイオ関連プロジェクト支援を担当します。

私は一昨年3月、東京工業大学生命理工学院を定年退職しました。大学では「環境生物工学」、および「生物化学工学」と題した講義を学部学生に教授し、同タイトルの教科書を編纂しました。環境関連の講義を始める際「環境に関する話は私の講義も含めウソが多いから常に懐疑的な態度で接するように」と促しました。私は「地球/環境にやさしい」といった表現がきらいです。表現の主体は地球/環境ですが、惑星の一つである地球に善悪の価値基準はなく、環境の定義(生物をとりまくあらゆる外部の条件、例えば、気体の状態、温度、光、化学物質、他の生物の生息状態などを総体的にいう)からすると、ヒトは地球生物の一種ですがすべてではありません。ヒト以外の生物にとって理想の環境とはヒトがいなくなるのだらうと思います。「やさしい」の定義は「悪い影響を与えない。刺激が少ない。面倒なことがなく、容易である。」などいろいろありますが、どうもしっくりしません。

生態系には死に関する三つの不文律があります。1. 弱い者は強い者に食われて死んでしまう、2. エサがなくなったら死んでしまう、3. 病気になったら死んでしまう。

1と2は容易に想像が付くと思います。病気、特に感染症は安定な生態系を維持するうえで非常に重要な役割を担っています。コロナ禍によりみなさん実感できたと思いますが、病原体(コロナ)の感染は種特異性(特定の生物種にしか感染しない)が高く、感染確率は個体の密度に比例します(密を避けると感染し難い)。したがって、感染症は一つの生物種だけが異常に増えることを防ぐ役割を担っています。これら三つの不文律をある程度回避できたのがヒトです。結果として地球上の人口はまもなく80憶人に達し「環境にやさしくない」事象が多く発生しています。このように人間の存在は生態系の不文律から逸脱しているのですが、逸脱することが人間性の本質であり、不文律に沿った解決策をいまさら受け入れることはできません。

私は「地球/環境にやさしい」ではなく、「ヒトにとって快適な環境条件を人為的に創生する」ことが求められているのだらうと思います。「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」支援を通し、少しでもその実現に資することを目指したいと思います。よろしくお願いたします。



和文会誌 最新号のお知らせ

和文誌『地球環境』Vol.26 No.1&2 地球環境モニタリング等の活動 30年の歴史と将来展望(責任編集委員:三枝 信子(国立環境研究所 地球システム領域 領域長)を刊行しました。

温室効果ガスについて、地上・船舶・航空機・衛星観測の取組と成果、生態系を対象とした観測ネットワークの活動、影響観測の取組を紹介、そして、得られたデータの利活用の現状と課題へと続き、最後に、今後の展望へと展開していきます。一挙に「地球観測」について知識が深まる一冊です。是非ご高覧ください。





業務日誌

(2022年4月)

4/4(月):CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
5(火):推進費制度 打合せ(環境省)
8(金):CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)
CO2 対策事業 環境省打合せ(Web 会議)
11(月):CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
12(火):CO2 対策事業 打合せ(協会)
13(水):CO2 対策事業 打合せ(環境省)
CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
14(木):推進費制度 行政ニーズ意見交換会に出席
(Web 会議)
CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
15(金):CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)
18(月):CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)
19(火):CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
21(木):CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)

CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
22(金):CO2 対策事業 打合せ(環境省)
CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)
26(火):CO2 対策事業 打合せ(Web 会議)
27(水):推進費制度 行政ニーズ PD,PA 意見交換会に出席
(Web 会議)
CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)
28(金):CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web 会議)

*推進費制度:環境研究総合推進費制度運営・検討業務
CO2 対策事業:地域共創・セクター横断型カーボンニュート
ラル技術開発・実証事業

AIRIES NEWS
AIRIES NEWS

編集・発行

一般社団法人国際環境研究協会

(日本学術会議協力学術研究団体)

〒110-0005 東京都台東区上野 1-4-4

TEL:03-5812-2105

FAX:03-5812-2106

E-mail:airies@airies.or.jp

Homepage:http://www.airies.or.jp

